

	中期経営目標	短期経営目標	評価項目	評価指標 《新》は、新たに生徒アンケートに加えるもの	実績値	目標値	評価 (自己評価の結果)	改善策																								
					令和7年度	令和8年度																										
知	主体的に学ぶ 生徒の育成 【学力】		・ 定期的な学力定着確認の取組	○確認テスト（数学・英語）の合格ライン（7割）以上の生徒の割合	77.1％ (国 52.6％、社 86.5％、数 73.8％、理 88.3％、英 84.2％)	数：80％ 英：80％																										
		知識・技能の確実な定着を図る。	・ 生徒の学びの振り返りや学び直しによる学力定着のための取組	○江田島市学力調査の観点別「知識・技能」の平均正答率	<table><tr><th colspan="6">令和7年12月（「知識・技能」の正答率）</th></tr><tr><th></th><th>国</th><th>社</th><th>数</th><th>理</th><th>英</th></tr><tr><td>2年</td><td>76.5 (102)</td><td>57.4 (107)</td><td>51.1 (91)</td><td>56.7 (107)</td><td>50.6 (94)</td></tr><tr><td>1年</td><td>74.5 (102)</td><td>50.2 (84)</td><td>62.1 (105)</td><td>56.1 (90)</td><td>45.2 (80)</td></tr></table> ※（ ）は全国比を表す ※ 太字は全国比 100 以上の教科	令和7年12月（「知識・技能」の正答率）							国	社	数	理	英	2年	76.5 (102)	57.4 (107)	51.1 (91)	56.7 (107)	50.6 (94)	1年	74.5 (102)	50.2 (84)	62.1 (105)	56.1 (90)	45.2 (80)	各学年における各教科の全国比を前年度以上または105以上にする		
		令和7年12月（「知識・技能」の正答率）																														
	国	社	数	理	英																											
2年	76.5 (102)	57.4 (107)	51.1 (91)	56.7 (107)	50.6 (94)																											
1年	74.5 (102)	50.2 (84)	62.1 (105)	56.1 (90)	45.2 (80)																											
思考力、判断力、表現力を鍛える。	・ 協働的な学び・個別最適な学び、自己調整して主体的に学ぶ力の育成（ICTの効果的活用、自由進度学習等） ・ 思考が深まる授業づくりの推進	○江田島市学力調査（5教科）における思考・判断・表現の観点の平均正答率	<table><tr><th colspan="6">令和7年12月（「思考・判断・表現」の 正答率）</th></tr><tr><th></th><th>国</th><th>社</th><th>数</th><th>理</th><th>英</th></tr><tr><td>2年</td><td>67.0 (100)</td><td>57.8 (115)</td><td>31.9 (86)</td><td>62.0 (140)</td><td>43.8 (94)</td></tr><tr><td>1年</td><td>51.2 (91)</td><td>41.8 (87)</td><td>42.2 (85)</td><td>44.6 (90)</td><td>39.5 (86)</td></tr></table> ※（ ）は全国比を表す ※ 太字は全国比 100 以上の教科	令和7年12月（「思考・判断・表現」の 正答率）							国	社	数	理	英	2年	67.0 (100)	57.8 (115)	31.9 (86)	62.0 (140)	43.8 (94)	1年	51.2 (91)	41.8 (87)	42.2 (85)	44.6 (90)	39.5 (86)	各学年における各教科の全国比を前年度以上または105以上にする				
令和7年12月（「思考・判断・表現」の 正答率）																																
	国	社	数	理	英																											
2年	67.0 (100)	57.8 (115)	31.9 (86)	62.0 (140)	43.8 (94)																											
1年	51.2 (91)	41.8 (87)	42.2 (85)	44.6 (90)	39.5 (86)																											
徳	自己実現と社会貢献を図る 基礎の育成 【規律】 【自己実現】 【貢献】	行動三原則の徹底を図る。 （時間、あいさつ、返事）	○あいさつ、返事の指導の徹底	○「大きな声ではっきりと挨拶や返事をしている」生徒の割合	78.3％	85％																										
		不登校生徒への取組を充実させる。	・ 担当教員を中心とした組織的な取組の充実 ・ 教育相談体制の充実	○不登校生徒数	2 人	1 人																										
		レジリエンスを育成し、自己有用感を高める。	・ レジリエンスを育成する学習活動の推進 ・ 生徒会を中心としたボランティア活動（アダプト活動）の充実	○「つらい出来事があっても耐えられる」生徒の割合	57.1％	60％																										
				○「困ったときに声をかけてくれる人がいる」生徒の割合《新》	新規	60％																										
○「自分のよさは周りから認められている」生徒の割合			81.2％	82％																												
体	体力の向上と生活習慣の改善 【運動習慣・体力】	体力の向上を図る。	・ 保健体育科の授業を起点とし、積極的に楽しみながら運動する場の工夫 ・ 保健体育委員会を中心とした体育的活動の充実	○体力・運動能力調査「県平均以上」の種目数	男子6種目、女子3種目	男子：6 女子：5																										
				○「運動やスポーツが好き」生徒の割合《新》	男子56.1％、女子40.7％	男子：65％ 女子：50％																										
		基本的生活習慣の改善を図る。	・ 健康観察の充実 ・ 情報モラルに関する指導の充実	「健康観察・元気調べを通して自分の生活習慣の改善を図るように努力している」と感じる生徒の割合	64.7％	70％																										
信頼される 学校	「学校組織マネジメント」の確立	「働き方改革」を推進する。	○校務分掌の平準化 ○部活動休養日の完全実施 ○各活動の見直しと早期の起案	○時間外勤務月 80 時間以上の職員数	延べ6 人	0 人																										
				○「仕事にやりがいがある」と感じる職員の割合《新》	新規	85％																										

	「地域と一緒に な っ た 安 全・安心な学校 づくり」	積極的な情報発 信を図る。	○学校だより、学級通信、HP 等 により取組の目指す姿や結果を タイムリーに発信	○「学校の様子がよくわ かる」と感じる保護者の 割合	88.1%	93%		
		コミュニティー スクールの取組 推進	○学校運営協議会で、課題・ビ ジョンの情報共有による学校づ くりの推進	○学校運営協議会評価 「実際の取組の適切さ」 《新》	3.8/ 4	3.8		